

競技注意事項

2025/7/11 版

1. 競技規則について

本競技会は、2025年 World Athletics 競技規則・日本陸上競技連盟競技規則・本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ユニフォームおよび携行品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」(国内)を順守すること。抵触している場合は是正を求めらるので従うこと。(表彰を含む)

3. 参加受付について

受付は下表のとおりとする。場所は参加者受付(正面スタンド入口付近)で行う。

※「個人申込」でエントリーした競技者(団体)については、個別の受け取り可とする。

期日	時間
7月19日(土)【大会1日目】	7:00~15:00
7月20日(日)【大会2日目】	7:00~17:00
7月21日(月祝)【大会3日目】	6:50~14:00

4. 練習について

(1) 練習については下表のとおりとし、係員の指示により従うこと。

前日(7/18)については専有利用ではないので、練習の場合は個人利用扱いとし、練習できる内容についても、競技場の個人利用のルールに従うこと。

	7/19(土)	7/20(日)	7/21(月祝)
本競技場	7:00~9:00	7:00~ 8:50	7:00~8:00
ウォーミングアップエリア	7:00~17:20	7:00~17:20	7:00~15:00

・100m スタート地点近く競技場外(コンクリート部分)に、ウォーミングアップエリアを設ける。

・競技に支障のない範囲で、本競技場バックストレートをウォーミングアップエリアとして開放する。
(周回競技中は使用禁止。また、走行方向はトラックと同じ方向のみとする。)

・7/20(日)は、男子800m予選終了後、400mHの練習用にハードルを設置する。(12:20頃~13:00まで練習可)
4・5レーン:女子用、6・7・8レーン:男子用(5台まで) (準備の都合上、全台配置してある)

(2) 器具を用いての投てき練習は全て禁止する。用具を持たないやり投げの助走、円盤投・ハンマー投のターン練習のみ可能とする。(タオル等を投てき物とみなして所持しての練習も禁止とする)

(3) ミニハードルやメディシンボール・牽引用チューブなどの練習器具を使用した練習を禁止する。
リレーのバトンのみ持ち込み可能とする。

5. アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは、参加受付の際に1名につき2枚配布する。

(2) アスリートビブスは、そのままの大きさで胸と背に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背だけでもよい。

(3) トラック競技に参加する競技者の腰ナンバー標識については以下のとおりとする。

なお、シール式をつける場合は、汗等で剥がれ落ちることを防止するため、招集所で配布する安全ピンで留めること。

・高校生については1番~16番までは各学校で用意すること。17番以降については招集所でシール式を配布する。

・大学、社会人については、招集所でシール式を配布する。(競歩は招集時に現地で配布する)

・4×400mRについては、2走・3走・4走は腰ナンバー標識をつけること。用意は前項に準ずる。

(4) 混成競技の最終種目は自分のアスリートビブスで走る。(順位を示すビブスは着用しない)

(5) 競歩に出場する選手は、自分のアスリートビブスと同じ腰ナンバー標識を付ける。

6. 招集について

(1) 招集所は、正面スタンド内に設ける。

(2) 招集開始・完了時刻等については競技日程記載のとおりとする。

なお、フィールド競技の招集については、競技場所(現地)とする。

(3) 混成競技の招集については、各日最初の競技種目は招集所で行い、以降の種目は競技場所(現地)で行う。(時刻は競技日程参照のこと)※女子七種競技の2日目、最初の種目はフィールド競技であるが、招集所で行う。

(4) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等の商標のチェックを行う。

(5) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態(機内モードなど)に設定している場合のみ持ち込みを認める。

(6) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が招集所に用意している「多種目同時出場届」を、招集を受けることができない種目の招集完了時刻までに招集所に提出すること。

- (7) 招集完了時刻に遅れた場合や、「多種目同時出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに招集所に提出されない場合、当該種目を棄権するものとして処理する。
- (8) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
- (9) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、ラウンドごとにオーダー用紙に記入して、当該種目第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。オーダー用紙の提出がないものについては「欠場」として扱うので、特に決勝に進出したチームは気を付けること。
なお、オーダー用紙は参加受付にてアスリートビブスと一緒に配付する。
(決勝については、番組編成確定後、招集所にて準備するので各チームで受け取りに来ること)

7. 欠場について

- (1) 棄権については必ず棄権届を提出すること。棄権届の提出がない場合、今後の競技会参加を認めない場合がある。
- (2) 現地招集所への口頭での申し出、もしくは、以下の URL もしくは二次元バーコードから入力し届け出ること。
【URL】 <https://forms.gle/icXG2FWhxNv6NwRB9>



8. 競技について

- (1) 競技の抽選・番組編成・全体について
 - (ア) 最初のラウンドの番組編成については、各日の前日 12:00 までの欠場届を反映して行う。
前日 15:00 頃までにアスリートランキングで発表するので、各自確認すること。
なお、棄権を反映した出場数により組数が少なくなる場合、次ラウンドへの進出要件は次のとおりとする。
 - ・男女 400m まで (ハードルを含む)、女子 800m
2 組の場合：各組 2 着+4、3 組の場合：各組 1 着+5、4 組以上の場合：タイムレース
 - ・リレー
2 組の場合：各組 1 着+6、3 組の場合：各組 1 着+5、4 組以上の場合：タイムレース
 - ・前日の番組編成後の再編成は行わないが、招集時に棄権者が出て、出場者数が決勝進出数以下となったときは予選を行わない。その際は、次のラウンドのみ行う。(改めて招集を行う)
(その際の決勝の番組編成は、資格記録をシードとして編成する)
 - (イ) 男子 800m・男子 1500m は、予選の結果により、決勝は均等に 3 組編成する。決勝はタイムレース決勝とし、3 組の総合結果で順位を決定する。
 - (ウ) 各ラウンドの組み合わせについては、その時のランキングを基準とする。同一所属の同一組は考慮しない。ただし、リレー種目の予選については、同一所属のチームが同一組に入らないようにする。
 - (エ) タイムによる次ラウンドへの進出者(チーム)を決定する時に、最終枠に同記録(0.001 秒単位)がありレーンが不足する場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い進出者(チーム)を決定する。
 - (オ) 決勝で複数組を行う場合、C→B→A の順で行う。A 決勝の順位が県選手権の順位となる。B・C 決勝出場者が A 決勝の記録を超えたり、A 決勝が 8 人に満たない場合でも、順位の繰り上げ等は行わない。
 - (カ) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは各自持参のものを使用すること。また、持ち込みの投てき用具については検査に合格したもののみ使用を認める。
 - (キ) TR8 は適用しない。(現場での抗議は認めない。)
 - (ク) 競技結果の正式発表時刻は、アナウンスで告知された時刻とする。
 - (ケ) 登録陸協が「新潟」以外の者は全てオープンとして扱う。オープン参加の場合は、決勝まで進出できるが順位はつかない。また、オープン参加者が決勝に進出できるのは最大 7 人である。(1 人以上は新潟県登録の選手が決勝に進出しているようにする。)
- (2) トラック競技について
 - (ア) 計時はすべて電気計時(0.01 秒)を用いて行う。
 - (イ) 5000m 以上の種目では給水所を設置する。
 - (ウ) 衣類運搬は実施しないので、選手は各自で荷物をまとめるビニール袋等を持参すること。スタート付近の混雑緩和のため、スタート地点に移動する際に、荷物の移動を求めるとの指示に従うこと。
 - (エ) フィニッシュ後、競技に支障のない範囲でスタート地点に戻る。正面スタンド前の通行は禁止とする。
 - (オ) 次ラウンド進出者が欠場した場合のレーン補充は行わない。
- (3) リレー競技について
 - (ア) TR24.10 については [国内] を適用する。
 - (イ) メンバーは全て「新潟県」登録者のみとする。
 - (ウ) リレーに使用するマーカーは各チームで用意すること。
 - (エ) 同一所属からの決勝進出チームは記録の最もよい 1 チームのみとする。
同記録であった場合は、0.001 秒まで写真を拡大し、良い方とする。(それでも同じ場合は抽選とする)
着順により進出するチームが 2 以上あった場合は、最もよいチームを進出とし、進出できないチームの組の着順は次のチームに権利を移す。
 - (オ) 同一所属のリレーチーム間のメンバー変更は認めない。
例：B チームに登録されているメンバーを、A チームとして出場させることは不可とする。
 - (カ) オーダー用紙は、第 1 組の招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。オーダー用紙は各日 8:00 頃から受け付ける。4×400mR については、競技日以前であっても招集所が機能している時間帯については提出することができるが、提出後の変更の可否は TR24.12[国内]のとおりとする。
 - (キ) 決勝に進出したリレーチームのオーダー用紙は、決勝の番組編成が確定後に招集所にて配布する。招集所で受け取った後、決勝の招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。

(4) フィールド競技について

- (ア) 招集後の練習は、全て競技役員の指示に従うこと。
- (イ) 手拍子を求める行為は、長さの競技については4回目のラウンドから可とする。高さの競技についてはパスしている競技者を含めて8人以下になった高さから可とする。混成競技のフィールド種目での手拍子は一切禁止とする。
- (ウ) 投てき用具の持ち込みを希望する者は、8:00~10:00・12:00~13:00の時間に用器具検査場(招集所近く)にて検査を受けること。持ち込みは1人2つまでとする。WRk種目についてはWA認証品に限る。WA認証番号の証明は持参者が行うこと。
- (エ) 検査に合格した投てき用具はその場で一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。返却は用器具検査場で行うので、競技終了後できるだけすぐに受け取りにくること。現地での返却はしない。借り上げた用具の破損について主催者は一切の責任を負わない。
- (オ) 荷物をまとめる袋等は各自で用意すること。
- (カ) 走高跳(混成競技を含む)に使用するマーカーは各自で用意すること。
- (キ) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動については現地で競技役員に申告すること。
- (ク) 三段跳の踏切板は、男子:11m 女子:9mに設置する。
ただし希望により、男子は13m・女子は11mでの試技も可能である。(招集時に申し出ること)
- (ケ) 高さの競技のバーの上げ方は下表のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	以降
男子走高跳	1m85/2m10	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	3 cm刻み
女子走高跳	1m35/1m53	1m45	1m50	1m53	1m56	1m59	3 cm刻み
男子棒高跳	3m30/4m00	3m50	3m70	3m90	4m05	4m15	10 cm刻み
女子棒高跳	現地で申告	3m35	3m45	3m55	3m65	3m75	10 cm刻み
混成男子走高跳	現地で申告	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	5cm 刻み
混成男子棒高跳	現地で申告	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	10cm 刻み
混成女子走高跳	現地で申告	1m18	1m22	1m26	1m30	1m34	4cm 刻み

※ただし、気象状況等により審判長の判断でバーの上げ方を変更する場合がある。

※第1位が同成績の場合、順位決定の際のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

- (コ) 映像機器の受け渡しはコーチングエリア前でのみ行うことができるが、正面スタンドからの受け渡しは危険を伴うため禁止とする。

9. 抗議と上訴について

- (1) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内(同一日に次のラウンドがある場合は15分以内)に、大会運営本部に申し出ること。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。
- (2) 審判長の裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書(大会本部に用意)に必要な事項を記入し、預託金10,000円を添えることで上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は指定された場所で待機すること。

10. 表彰について

- (1) 1位~3位まで表彰式を行う。
- (2) 表彰の際、選手はウエアまたはTシャツを着用のうえ表彰に臨むこと。(ユニフォームでの受賞は不可とする)
- (3) 表彰は、正面スタンド前にて準備が整い次第随時行う。(雨天等の場合は場所を変更する場合がある。)3位までの競技者は競技終了後速やかに表彰者待機場所に集合すること。なお、重複して出場する種目が以後に予定されている場合は、表彰者待機場所で担当役員に申し出ること。

11. 迷惑撮影防止について

各大会における盗撮の報告および日本陸連による盗撮防止啓発により安心安全な大会運営を行う為、主催者規定に基づき、以下のとおりとする。

【スマートフォン・タブレット端末】※許可証不要

正面スタンドおよびコーチングエリア内でのみ撮影可とする。(その他の場所では一切撮影禁止とする)

【撮影許可証発行対象撮影機器】

一眼レフカメラ/ミラーレスカメラ/家庭用ビデオカメラ/カメラ機能付き双眼鏡(単眼鏡)

ズーム機能使用および望遠レンズ着用のスマートフォン・タブレット端末

上記、撮影機器使用対象者は、競技場正面『撮影許可証発行所(正面入口)』にて身分証明証を提示のうえ、手続きを行うこと(有料)。

12. 医療機関

長岡赤十字病院 〒940-2108 新潟県長岡市千秋 2-297-1 TEL:0258-28-3600

13. 北陸選手権(8月23日・24日:富山県)への出場権について

- (1) 個人種目については本大会8位までの入賞者及び、別途大会要項に定める参加標準記録の突破者とする。
- (2) 混成競技は4位までの競技者(4人)とする。
- (3) リレーは8位までのチーム(8チーム)とする。
- (4) 混成競技・リレーについては、有資格のチームが参加申込を辞退した場合は、次点の競技者(チーム)に権利が移る。

北陸選手権への参加申込を希望する場合は、最終日の全競技終了（4×400mR表彰式終了後）までに大会運営本部に北陸選手権出場の意思を表明すること（口頭でよい）。この時までには意思の表明がない場合は参加申し込みを「辞退」とみなし、次点の候補チームに順次意思を確認する。なお、リレーについては予選の順位をランキングとするので、辞退するチームがある場合は、予選の記録9番目のチームから順次確認する。

14. その他

- (1) 更衣室は正面スタンド内にある。更衣のみに使用し、貴重品は各自の責任で管理すること。
- (2) 正面スタンド最前列手すりには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所については観戦・競技進行等の妨げにならない範囲で認める。ただし、主催者により移動や撤去を要請する場合がある。
- (3) スパイクシューズを履いたまま競技場施設（スタンド等）には入らないこと。
- (4) 記録掲示は行わない。アスリートランキングで確認すること。
- (5) プログラム（冊子）は団体に1冊配布とする。個人には配布しない。
- (6) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (7) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。
- (8) 記録証明書は発行しない。本大会の出場証明書が必要な場合は大会本部に申し出ること。
- (9) 参加料領収書はエントリーシステム（決済システム）から発行できる支払証明書に代える。
- (10) 本競技場における選手待機場所は、芝生スタンド・競技場外の芝生エリアとする。
- (11) トイレ前や非常口、車イス優先観戦場所等は禁止とする。
- (12) 混成競技控室は設置しない。
- (13) 用具の留め置きについては、芝生スタンド及び周辺の芝生エリアは、テントの骨組みのみ可とする。その他の用具を留め置きたい場合は、正面スタンド内の指定された場所に整然と置くこと。
- (14) ごみは毎日全て持ち帰ること。（留め置きをしない。）
- (15) 大会関係者が撮影した写真・動画は主催者に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がある。
- (16) 棒高跳ポール送付先は以下のとおりとする。往復ともに各自の責任でもって対応すること。
長岡市営陸上競技場 〒940-2105 新潟県長岡市緑町1丁目5番地1 TEL 0258-27-6300
- (17) 提出書類等については、下表のとおりとする。

	書類等	提出先	期限等
1	欠場届	競技注意事項7(2)参照	
2	多種目同時出場届	招集所	招集を受けることができない種目の招集完了時刻
3	リレーオーダー用紙	招集所	競技注意事項8(3)参照
4	棒高跳支柱移動届	現地（口頭）	競技場所で競技役員に口頭で申告すること。
5	抗議申し立て	大会本部（口頭）	競技注意事項9(1)参照
6	上訴申し立て	大会本部	競技注意事項9(2)参照